開館時間の拡大（答申）について　会議録抜粋

資料２

5/17金　第１回定例会

第６　諮問：「西東京市図書館の開館時間延長について」

〇館長　手続き上は教育委員会の承認を得てから、次回７月17日第２回定例会に諮問をさせていただく。西東京市の状況をお伝えし、近隣自治体の現状のデータを示し、場合によっては職員から意見を聞くことも可能である。
再来年度この中央図書館が耐震工事をする。工事をするので休館をせざるを得ない。市の方針は利用者に迷惑をかけるので、開館した際には開館時間が拡大しているべき、ということである。ただ協議会が中央図書館をやるならば駅前他３館もという話になれば、形にはさせていただく。職員を増さなければならない。来年度答申が出たあと組合交渉に入り、秋に予算をあげ再来年度実施する。また、芝久保、谷戸の祝日開館についても今回協議会に検討いただきたい。

平成30年度事業評価を７月の第２回定例会以降、同時並行で協議していただきく。また今回この図書館計画の前計画は平成21年度から平成30年度まで10年間の計画だった。10年間のうち最初の５年間は中間報告をだしたが、後半平成26年度から平成30年度の５年間の総括も出したい。それをここで確認し教育委員会に報告させていただく。教育委員会の報告は11月に予定している。

〇副会長　図書館計画Ｐ22　取組③利用しやすい環境づくり「◇現行の開館時間について、利用状況を把握、分析し費用対効果の視点を持って検討します。」の具体的な取り組み表をみると、2019年度は状況分析、検証だった。利用状況把握分析で開館時間の何時から何時までの利用人数はわかるのですか。

〇館長　図書館では３年おきに利用者アンケートをとっているので、そこからピックアップした事例はとれます。

〇会長　館長の説明で、改修工事があるから迷惑をかけたからとありましたが、それはちょっと違うのかなと。利用者の要望が強いので検討してほしいのほうがいいのでは。それと諮問内容ですけれども具体的に中央図書館と芝久保、谷戸図書館という形でてくるのですか。一括して出てくるのですか。

○館長　もっとシンプルに考えておりますが、西東京市図書館といった場合どこを指すとかというのはここのなかでは謳わず、具体的プランが出てきたところではもちろん協議会の意見も反映させますけれども、こちらも資料、データを出しますので、どこの図書館は何時から何時までが望ましいというものになるかと思います。

○会長　次回の諮問を受けた形で検討すると。次回に西東京市図書館の状況と近隣の状況が資料が出てくることでよろしいか。

○委員　できればシンプルな内容の諮問がいい。

○委員　現状で館によって違うわけですね。そう決められた資料があるはずですよね。

○会長　各館が違うことの理由を含めてですね。本館、分館との位置づけもあるだろうし、合併などいろいろな経過があるのでは。

7/17水　第２回定例会

第２　諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について

○館長　諮問の中身ですが、資料２にあるように、まず中央図書館の開館時間の拡大。朝９時から開館するプランと土日祝日の閉館時間を20時に繰り下げるプランが一緒になっている。これでいくと中央図書館だけで１週間あたり10時間開館時間が増えるということになる。現行56時間ですので、約２割増しになる。

また、谷戸図書館、芝久保図書館の祝日開館を諮問する。これについては平日、土日ともに10時から18時の開館時間のうち、10時開館18時閉館は変わらずに、それを祝日も行う。現状祝日は日曜と重なった場合は、日曜日ということで開館しているけれど、純然たる祝日開館はしていないので、通常の祝日開館を行うということです。これも年間16～17日増える計算になる。

それぞれ諮問理由を（1）（2）ともに資料１に書き出している。超高齢社会を迎え、これまでの利用者アンケートの要望、あるいは耐震改修工事での市民の要望のなかから、中央図書館の開館時間の拡大について、適正な規模を明確にする必要があると感じている。また、市内駅前図書館中央図書館を含め４館あるが、祝日夜間開館の実施を踏まえ、芝久保、谷戸図書館の開館日についても、考え方を明確にする必要があると感じている。以上については、図書館計画の「利用しやすい環境づくり」に照らし合わせて、諮問するものです。答申期限は来年５月末日を目標としている。

資料３から各自治体の中央図書館の開館時間を見ると、朝９時から開館して

いるのは４自治体。９時30分から開館しているのは５自治体ある。９時からという諮問を出しているが、９時なのか９時30分なのか、10時でいいのか、という点、中央図書館の夜間開館、特に土日祝日の夜間開館について調べたところ、18時以降開いている図書館は、直営館は３館。八王子が７時まで、羽村が８時まで、調布が８時30分まで空いている。指定管理館では、青梅市が８時30分まで、武蔵野プレイスは中央館ではないが夜10時まで開いている。PFIの図書館としては、稲城市が20時まで。府中市が夜10時まで開いている。西東京市中央図書館ではそれが必要であるかどうかというのを明確にしていただきたい。地域館の祝日開館だが、地域館も全館とも開けているのは、26市中11市で全館実施している。１館だけ実施しているのは３自治体。未実施は、多摩市とあきる野市、小金井市の３市になる。休館日に祝日があたった場合開館するという祝日開館といえない館が７自治体ある。

○副会長　芝久保と谷戸に関しては、第３金曜日が休館日なっていないが、その件は今回の諮問には関わらないと考えてよいか。

○館長　現状第３金曜日については駅前４館で休館日だが、芝久保、谷戸は変わらず開館する。それについては触れていない。

○会長　中央館の夜間をやっているのは平日のみですね。時間帯別の利用状況については数字としてでているのか。

○館長　西東京市中央図書館のデータだけでいいますと、特に土日祝日の利用状況で見ると、午後以降時間を追うごとに利用者数が増えていく。６時で終わってしまうので、６時が最大のピークになる。ずっと右肩上がりで時間を追うごとに利用者が増えていって、６時直前は一番混雑している状況である。もし８時まで開館した場合は、新たな利用者というよりは、その方たちの利用が少しなだらかになる予測が立つ。今までの利用状況からすると新規利用者が延長で増えるかというとのは疑問である。芝久保・谷戸についても、閉館時間に向かって伸びていく。

○会長　平日の７時台はどうか

○奉仕係長　実感としては少ない。６時くらいがピークでそこから下がっていく。利用者人数、比例して貸出冊数も少なくなっている。

○委員　その数字というのは、カウンターを利用した人ではなくて、来館者がカウントされているのか

○館長　貸し出し者数と貸出冊数です。

○委員　来館者数をカウントするのも一時調査をしてもいいのかもしれない。日常的な貸出者数と貸出冊数はコンピューターで管理しているが、それら辺りのデー

タがどこかで出せればよい。
○館長　数字とかデータは改めて出します。
○会長　他市の土日８時までやっている中央館でその時間帯で利用はどうなのか。
○副会長　住宅地と商業地だと全然違う気がする。９時開館というのもセットですか。
○館長　セットしているが分けて考えても構わない。最大値で９時８時です。
○会長　これはローテーションも変わる。職員の数は減らさないで、嘱託員の制度を変える可能性があると。
○館長　職員側からは正規職員の要求の声は出ているが、現状としては難しい。
○副会長　利用者側のアンケートで時間を拡大して欲しいというのは、どのくらいあるのか
○館長　前々から言われているだけで多くはない。ただ実際９時から開けている館があるなかで、諮問するならどういう形がいいか、というのは聞いたほうがいいと思った。
○委員　旧田無市の図書館は40年前に10時から６時までだった。夜間開館の先駆けだった。10時から６時という形で大変だった。そこを押さえたうえで検討して欲しい。
○館長　中央図書館で遅くまでやっている館を紹介したが、５時で閉館している図書館は17自治体。私どもは、駅前４館で通勤、通学客を夜８時で吸収していると考えている。土日のゴールデンタイムにそれが必要かというのを市民の入ったこの場で決めていただくのが一番である。
○会長　仕事量は増えるわけだから、それにどうやって人を当てていくか。

9/4水　第１回臨時会

<u>３　西東京市図書館の開館時間の拡大について</u>

○副会長　前回伺ったときは、中央図書館のことだけではなくて、今、夜間を開けてない住宅街にある図書館２つも検討対象になるのだというお話あったと思うんですが、基本的には中央図書館こととして考えていいんですか。
○館長　そうです。
○副会長　第３金曜日は、駅前にある図書館は休館しているが、谷戸と芝久保は開いている。そこをどうするかということも含めないと、結局同じように夜間を開けて、第３金曜日も開けてという話になると、全然違ったことになると思う。
○委員　こういう案が出てきたというのは、相当厳しいどこからかの要求あってでで

きたということですか？

○館長　一つは再来年度工事で休館しますが、今の見積りでは、工事の工程がまだ見えていません。令和３年度に工事契約をした場合、最短でも７月１日に工事を開始したとして、年度末までに仕上げる必要がある。どのくらいで終わるかは正確にはわからない。図書館は半年以上にわたって休館するということは、市民にとって打撃ではないか。打撃の背景にあるのは、市民会館が３月で閉館になり、施設が全く使えなくなっている。さらに令和３年度になって中央図書館・田無公民館が半年以上休館するというマイナスの要素があって図書館が休館から開けた時には、何らかの図書館サービスの拡大を行いたい。中央図書館なのだから朝から夜まで土日もという諮問にしたものです。

○委員　ない袖は振れないということはあると思うのですが、こういう案が出ているという事は、一応見通しがあるからこのような考えですか。

○館長　図書館として考えているのは、市民要望があることは確かなので、協議会で検討していただきたい。

○委員　東久留米市については、その後変更していて指定管理の３地区館を含めて４館とも９時から19時までに合わせました。もともと20時までになった経緯が、指定管理を導入するときに、開館時間を延長することになり、評価の時期になって、指定管理館と中央館が休日のときの開館時間がバラバラだとの指摘を受けた。アンケート、利用状況から19時以降は利用が比較的ないだろう、土日についても17時までだったのを19時までにするから、20時までをやめたことになります。全体の利用から見て妥当な開館時間じゃないかということになった。東久留米市は駅に近い図書館がないわけですから20時までやっている必要はないだろうと。

○委員　資料７西東京市は１日平均火水木で19時から20時までの利用者が50～70人くらいですね。それがどのくらいと判断するかというあたりもあるのですけれども。土日祝日がすごく高い100人を超えたところで終っていることを思うと、この延長というのは、ちょっと期待できるかなというのもあります。10時もすごく高いところからスタートしていることは、この前の時間も欲しいというのもあるかなと思います。

　ただ、こちらは協議会で何時が望ましいというのはやはり人員体制がとれるかどうかとのバランスなので一市民としてはサービス的には長い方がいいですが、労働環境が可能かどうか、そのための費用を出すのであれば、他の方が切り捨てられるのかとか、そういうバランスの問題なので、協議会でそういうのを出せるかはかなり難しい話と思います。そのあたりの見通しがわからない。

○委員　結局、我々が答申するわけだから、いくつかのきちっとこれでどうだという

ふうな出す形以外ないと思う。どうしても配置が必要だということをきちんとしたうえで、谷戸、芝久保についてはこうしましょうかとか、中央の土日の延長についてはどうするか、すべてそれらに絡まって答申しなければならない。状況をきちんと押さえたうえで、やらざるを得ない。図書館側からはそれ以上のことは言えないだろうし、協議会におまかせしますよということしかないだろう。

○副会長　いただいた資料から土日の18時前に人が増えているのを見ると確かに、ここは開館時間が延びたら利用人数が延びるのだろうなとわかるのですが、本当にいろいろな利用者アンケートとかでぜひとも土日の夕方ももう少し夜までやって欲しいだよとか、平日は10時より前に開けて欲しいとかなっているから話し合いをする必要があって、図書館協議会で答申として要望をださせていただくことはありだろうと思う。

○館長　朝の時間についてはアンケートにあります。

○副会長　朝については検討材料かなと気がする。ただ夜については働く側の人の環境を考えてもものすごく大きな変化になると思うので、人の手当がきちんとできる状況がないのに、ただ要望しても意味がない。全部をきちんと私たちの中で理解して、精査して、こうですという説明をできる状態にするには、何をもらえばいいかもわからない。

○会長　いただいた諮問事項は２つあって、一つは中央図書館の開館時間の拡大。可能性としては朝の開館時間の繰り上げをどうするか。あとは、平日は、夜間は20時までやっているわけだから、土日祝の夜間をどうするかということでいいですか。芝久保と谷戸については、祝日開館をどうするか。

○館長　芝久保、谷戸についても図書館提案です。市民からはそういう意見を聞いています。今年の５月のＧＷの通常は通常だと10連休になるところを５月１日、２日は開館した。それとどうしても祝日を休んでしまうと次の日の朝の返却が大変なので、超勤をつけなければならないという事が発生し、職員の負担が当然あるので、コンスタンスに開けていれば、負担はなくなる。

○副会長　現実問題として、働いている方がどういうふうに思われるか。

○地域館長　休み明けは確かに多いです。１時間早出して、返却しています。

○会長　早出とは何時にでていますか。

○地域館長　普通は９時30分出勤なのですが、８時30分に出て、職員も２人しかいない。祝

日を開館すれば、それは解消されると思いますが、その分どこかでお休みを職員がとる。かなり長いこと半数出勤が続いてしまって、谷戸、芝久保の半数とは職員１人しかいないので、かなりきびしい。

○会長　土日は半分体制ということでいいですか。１人１人が土日交互で交代。祝日それをやると同じ状態になる。

○館長　年間であらかじめ出る日、出ない日を決められないとスケジュールが組めない。代休をどうするか年間で決めておかないと。

○委員　資料として17時以降カウンターに何人が入るか､人の配置の人数がわかれば､何人必要だということが割り出せるのでは。

○委員　実際働いている方は、祝日開館時間をどう思われますか。

○地域館長　人数が少ないなかで半数が長いと大変。

○委員　原則的として休館としておいて、連休が長く続くときには変則的にあける。もちろん年間計画のなかですけれども、そういう働き方であれば現状の人員でやれるけれど、それが全部開けるとなったら、それは無理でしょう。

○副会長　嘱託の方も、結局交代でいろんな形で働いていらっしゃるのではないですか。その方たちの働き方を含めて変わってきますよね。今まで谷戸、芝久保で働いていた方は、基本的には18時で閉館したあとに、最後の業務をして帰りになるというパターンで働いておられると思いますが、それをさらに夜を開けるとなると変わってくると思います。

○館長　芝久保、谷戸は、今回は対象としていないです。祝日を開けることだけ。

○副会長　第３金曜日はどうするのですか。

○館長　第３金曜日は開ける。閉めるのはサービス低下になるので現状のままです。

○委員　祝日を開けるので、第３金曜日は休みにするのは低下ではないのでは。

○副会長　第３金曜日を開けてという人はいると思う。芝久保、谷戸は今まで閉めていた祝日を開けるので第３金曜は館内整理日で閉めますということはできると思う。

○館長　そういう意見として提案していただくのは問題ない。

○委員　それは第３金曜日でなくてもいいですよね。芝久保、谷戸は第２金曜日に休みますよ、という形で。

○会長　第３金曜日が全部一緒にならないのか。

○館長　全館を休館にしたくない発想からです。

○上田　東久留米市は指定管理を導入したときに休館日をずらしたが今回一緒にした。

○会長　芝久保と谷戸は第３金曜日を今と同じように休まない。

○館長　今回の諮問には入れていない。

○会長　それであれば、このままですよね。

○地域館長　第３金曜日は、他の図書館から新聞を読むために、朝かなり人が並ぶ。

○会長　第３金曜日に他館に対しての何かお話しはありますか
○館長　特にない。やり方として来館者アンケートでこれを聞くというのはある。こういう諮問が出ていて、答申の材料にするということで、あるいは図書館の他のアンケートと一緒にするとか、手法としてはある。
○委員　基本的にそういうアンケートをしたら、みんな長いほうがいいとなる。それが私たちの材料ではなくて、予算をつけろという市への材料に使うなら別ですけれど、私たちの材料にはならない。
○副会長　こういうことをやることになったので、市民がこれだけ要望しているから、そこに予算をつけましょうというだけの材料になるかなと思うが、協議会のなかの判断するところで、それを全部使うというのは、私たちには人の手配もお金をとる手段はないので難しいと思う。
○委員　サービス内容としては諮問の案はマックスなわけですよね。それは利用者目線で考えれば、断る必要は、本当はないと思う。協議会が図書館の運営のことまで考えて、本当にできるのかというようなことを言うべきなのかどうかという話があるのかなと思う。もし、そういったことを言った方がいいということでしたら、マックスでできるのであれば問題はないのだけれど、それがサービスの低下を招く恐れはないのかどうか。時間帯は拡げるけれど、人員の手当がその分薄くなるとかということで、必ずしもサービスの向上に繋がらない可能性もあるかもということは危惧されると言ってもいいかもしれない。その場合、20時まで延長するというのではなくて、例えば19時までにするとか、朝の９時までというのも、必ずしも利用状態とあっているのかどうかということを検討して、再度計画してもいいのではないか。
○副会長　10時より前に館を開けるのであれば、30分前に出て来るのですか。
○委員　東久留米も開館時間を早めたので、９時出勤を８時30分出勤にしました。９時出勤だというのは、全体の時間をずらしてそういうシフトでやるというふうになっていたものを８時30分にしたので、全庁的なものに戻すということになった。
○委員　そうすると超勤しない限り、終わりまでいられないのでは
○委員　シフトを組んでいます。
○委員　シフトを組むということは、複数人がいるということですね。
○委員　会計年度職員になるということで条件がかわることがありますか。
○館長　特にありません。
○委員　実際に９時から開けて、それだけの利用が他の図書館にあるのでしょうか。イトーヨーカドーは、土日は９時から開けていたが、武蔵境は土日祝日の９時をやめた。実際にやっている図書館が９時から10時の間にどういう利用状況にある

のかがわからないとこれだけの犠牲をみなさんが払っていながら、開けたけれど大したことなかったねというはちょっともったいないかな。

○館長　朝並ぶのは高齢者が多いので、９時から開けるべきという議論はあると思う。他市の状況を次回までに調べる。

○会長　職員会議､分館長会議で協議会に対して諮問しているという話はしているか。

○副会長　できれば直接職員の意見を聞ける場を設けたほうがよい。

○委員　開館時間の延長は直営でできなければ、外部で委託すればいいじゃないかということとセットで話しが出てくる。ここで大きな目標を出して、それが実現できないのであれば直営をある程度見直さなければならないという議論になってしまうと、協議会の意向としてはちょっと困るということはあるのでは。

○館長　谷戸、芝久保の祝日開館は、このままいってしまうと指定管理のネタにされてしまうという危惧があるので、これで明らかにしたいという希望はあります。

11/13水　第２回臨時会

<u>第３諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について</u>

○館長　資料３は前回西東京市の時間別曜日別貸出の折れ線グラフに対して、調布市は西東京市と同じもの、ほかの自治体はクロスさせたものがないため、それに近しいものを入手しまして、まとめました。それぞれ傾向がつかめる程度ですが、ご確認ください。

○会長　調布市と西東京市を比べるのがよいですか。

○館長　次回以降のために何か必要なものがあれば資料を用意します。

○会長　具体的に議会や教育委員会、社会教育委員の会などで要望は出ているのですか。

○館長　利用者アンケートの自由記入欄に朝９時からという要望は一定数記載されます。地域館の祝日開館、週末の夜間開館については図書館の提案です。

○副会長　前回の会議で出席の地域館長から祝日明けの処理は大変という話はありましたが、同時に祝日を開館すれば職員は交代勤務になることもおっしゃっていたので、超過勤務だけでなく、職員体制は考えなくてはいけないことで、話を進めると、指定管理なり、委託といった話になり兼ねないと危惧があります。

○館長　サービスの拡大になりますので、人員については手当てをすることを考えています。

○委員　協議会としてはサービスが拡大するところについては人事も含めて答申に盛り込むことができるようにしたらよいのではないか。

○会長　あとだいたい２回の会議で基準になるようなサービスの内容を出していくよ

うにしましょう。

1/15水　第３回定例会

２　諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について

○会長　次の議題の西東京市図書館の開館時間の拡大について、事務局より説明をお願いいたします。

○館長　協議会に諮問をしていただいている状況で、５月に答申をいただくということで今まで少ない時間ながら皆様にご協議いただいております。これからちょっと時間が厳しくなりますけれども、スケジュールについて皆様で確認していただきたい。

３月４日に次回の協議会が開催されます。答申をいただくのは５月末までということでございますので、今年度の追加開催は難しいですが、年度が開けた後は５月までの間に臨時会を含めて会議を開催し、５月の定例会もご議論いただくようにすれば次回以降３回議論いただくことが可能です。

今日の資料をご説明しながら、また皆様方のご意見をいただきながら、３月までに事務局としてやっておくこと、それから皆様方にどのようなスケジュールで割り振ったらよろしいかご検討いただきたいことも含めて、今日の残りの時間をそれに充てたいと思います。

以下、資料の説明。

○会長　今館長から資料１と資料２、そして参考資料の３つの資料の説明がありました。他にもいろいろなご発言があったわけですけども、ご質問なりご意見などがありましたらお願いいたします。

○副会長　質問ですが、資料１で試案ということだと思いますが、これを職員アンケートに付けるということですか。

○館長　職員については、２パターンが３パターンに、専門員についても現状３パターンがさらに４パターンになる。本当にきっちりでスケジュールを管理しないと仕事ができない状況になってしまう。

11時から13時の間に職員２人、専門員３人、２階の作業も含めて最大５人という配置があるので朝の時間についてもこの５人を充てる計算をしています。

夜間は職員１人と専門員２人の３人で充てる形を考えています。専門員の比重がちょっと苦しいという感覚はあります。

○地域館長　現在、中央館奉仕係の職員は10名です。中央館には育児時間の時短を取得している職員や、育休に入っている職員がいます。地域館では、芝久保谷

戸の職員は２名、残りの館は職員が４名です。土日が半数勤務のため、職員体制が組みづらいということで中央館に配置している状況です。また、中央館の地域・行政資料室担当２人が実際には遅番の担当も行うことで回している状態です。会議や休暇など、いろいろなことを含めるとこの人数全員が揃っていれば回るかもしれませんが、疑問を持っております。

近隣の練馬区の図書館が９時から開館しています。朝の部分に関しては検討課題と思いますが、中央館の土日祝日の８時閉館は、増員があるならともかく、現状の人数では厳しいと考えております。

〇会長　開館日開館時間のことというのは私も現場にいたころからいろいろと考えてきたわけですけれども、市民サービスからすると開館日は少ないより多いほうがいい。開館時間は短いより長い方がいいというのが市民サービスという視点からすると大事だろうと思います。そういう意味では、この議論というのは、総論では大事だというふうに思うのですね。どこに問題が出てくるかというと１つは、開館日だとか開館時間が延びることによって、図書館サービスの質が維持できるのかというところを議論する必要があるだろう思います。

２つ目は図書館は人が運営をするわけですから、働く人が本当に働ける勤務体制になるか考えないと駄目だろうと思います。

〇委員　今、会長から話がありましたようにどういう体制ならば働けるかというところは、協議会のような外部からでは少しわかりづらいと思います。ですから職場の方でまずは十分な論議をしていただく必要があると思います。その上で可能な体制を示していただければ、意見も言いようがある。労働条件やシフトのことが絡むわけですから職場の方で十分な議論をまずしていただく必要があるのではないかと。協議会がこういう意見であるから、職場の方はその方向で取り組んでくれ、ということになるとちょっと責任を持って意見が言えないような気がいたしました。

〇副会長　図書館の開館時間が長くなる方がいいということとともに、図書館に行ったときに居心地の良い図書館でカウンターの方や館内にいる職員の方にも本当に気軽にいろんなことを相談できて、ここにありますよとか、こういう調べ方ができますよといった、いい雰囲気の図書館になるかどうかというところはやっぱり働いている方が働いていること自体に、やりがいと居心地の良さを感じていることが前提じゃないかと思うので、そこの部分が保証されている状態であれば開館時間は長い方がいい。

〇会長　委員と副会長の話の中でもありましたが、ぜひこの話は館内で議論を進めて

いただきたいと思います。その意味ではこのアンケートは１つの方法としては有効だろうと思います。地域館の話もあります。

〇委員　先ほど会長から話がありましたが、サービスの拡充ということであれば、市民としてはもちろん歓迎すべきことだと思います。潜在的なニーズというのも、もちろんあると思います。ただ、その潜在的なニーズがあるから、必ずしもやる必要があるかということは当然別問題だと考えます。サービスの中に優先度とか必要度というのがあるかと思います。

〇委員　実際にニーズがあることはわかるのですが、例えば夜間開館にしても朝の開館にしても、それから谷戸などの祝日開館にしても、いろんなパターンが出されていますが、切実に何が一番重要で、その他のものがどの程度どういうレベルでこの要求が並んでいるのかよくわからない。これを全部実施するのが一番の目的なのか、それともニーズの高いものから順番にそれぞれの現実可能性を考えてやっていくことが必要なのか、そのあたりをもう少しわかるような手だてというのはないのでしょうか。

〇館長　お二人の意見はその通りですけれども、１つは、ここ数年の間に図書館協議会から図書館の運営のあり方については直営で、というご意見をいただいております。ですが、実際には多摩地域でも、指定管理者制度導入の勢いというのはまだ止まっていません。市民の方が委員の大半を占める図書館協議会からの意見、答申は大きな意味があると思います。

芝久保谷戸の祝日開館は現在では駅前４館で実施済みのことですが、図書館の使命からすれば、開館していることは前提で、しかも毎日開館していれば、利用は平均化して職員の負担はそれほどないと思いますし、そのための体制ができるかできないかというところでの検討の余地はあると思います。

あとは市民目線というところです。公共施設の中で図書館が最もニーズが高い施設であるという認識ですので､市民ニーズに応えていくべきと思います。

〇会長　直営で維持をしていきたいという話と協議会の意見を大切にしたいとそれなりの優先順位を考えているという中で市民サービスを優先して考えていきたいというふうなお話だったろうと思います。

〇委員　協議会の意見として直営で考えていただきたいということは継続して出ている話ということですね。

〇委員　市民ニーズとしてはどちらに偏っているとかいうところがちょっとよくわからないところがあって、朝なのか、夜なのか。直営で何とかいい形を維持していこうというときに、図書館側でやれることがどこら辺なのかというのがちょっとはかりかねて難しいなと感じています。

○副会長　職員の皆さんにアンケートをするとうのは職員の方がどう考えているかを伺う意味ではすごくいいことだと思う。

○館長　地域館で祝日開館している例はあまりありません。多摩地域で地域館というのは非常に小規模で谷戸、芝久保の規模ではなくてその半分とか、平米数でいうと200、300といった規模なので、そこでは、祝日も開けるのか、みたいな捉え方もあると思います。各市の中央図書館でも26市中17市くらいがまだ土日に５時閉館という状況ですから､図書館の温度差も相当あると思います。西東京市は合併して６館になり、駅前４館は利便性が高いこともあって、祝日開館をしてきました。ICタグの導入もした。インターネットで予約することもできる。予約棚とか30冊予約できるとか、基本的なサービスについてはほとんど最大限までやってきている中で残る大きな課題は開館時間、特に芝久保谷戸の祝日開館だろうと考えています。10時を９時半にしましたとしてもこれはサービスの拡大なのでそういう方がむしろ職員にとっては優しいのかもしれません。そのあたりをアンケートで確認できる項目にしたと思います。

土日祝日の閉館時間というのはグラフでもお示ししましたように、予測されるのは、それまでに来た人がバラけるというだけで決してその量が増えるという分析ではありません。

○会長　次回へ向けての手がかりの１つとして、このアンケートは参考になると私は思います。ですので、今日のところはこのアンケートを検討して、その前の全体のところについては次回もありますし、またその後もありますので、議論していくということでいかがでしょうか。

○副会長　アンケートをするとして、全職員と考えてよいですか。選択肢は、９時開館、９時30分開館、10時開館とか、同じ状態で並んでいるとその人の気持ちに近いものを選べるという気がします。

○会長　他に感想でもご意見でもありますか。

○委員　当然これは無記名でやっていただく必要があるし、アンケートの使用目的も限定するとはっきり書いていただく必要があると思います｡場合によっては、回収したものを協議会の方で取り扱ってデータを図書館にお渡しする形でないと、答えにくいかなと思いました。

○会長　例えば協議会からのアンケートとするのとどちらが答えやすいでしょうか。

○地域館長　職員の本音を引き出すには、協議会の方からの方がいいと思います。

○会長　例えば私宛にして私が集計して皆さんに送るということでも構いませんし、それぐらいの仕事はさせていただきたいと思いますが、それで、皆さんがど

う思うか。

〇副会長　やはり本音を聞くとしたら、協議会でまとめて欲しいと思います。渡すのは全職員あてということで館からと思いますが、直接職員の方からこちらに戻る形にできればいいと思います。集計のお手伝いはできると思います。

〇地域館長　回答する立場からすると、西東京市図書館がよりよい市民サービスをするという視点では現在のサービスが必ずしも劣っているとは思っていませんが、現状で、まだやりきれないことがあると考えている職員はいます。サービス拡大について本音を聞き出すとすれば、設問の仕方がとても難しいかと思います。設問の仕方によっては、もっとがんばらなくてはいけないと思われてるのではと職員が感じ取ると率直な意見は出てこないと危惧します。

〇会長　現場の感覚からすると、例えば私はレファレンス担当で、地域資料担当で、児童の担当で、といった立場で、より児童サービスよくしたいというように考えているところに開館時間か、ということはあるかもしれないですね。本当に西東京市図書館は他と比べてもサービスを細かくやっていますが、それを踏まえた上でこういう課題があって、協議会でそのことを議論しているで皆さんのご意見を率直にお聞きしたい、という形で出すので、私がデジタルデータをいただいた上で、文章を直して皆さんに送る形で進めていくということでいかがでしょうか。

では私が直して、各職員の方に配布をし、回収の仕方等も考えていただいた上で、私が集計をして、３月には皆さんに出したいと思います。

それでは第２の案件の開館時間の拡大についてよろしいですか。